

問 清算金の徴収期間は法律上5年だが、せめて10年に延長できないか。

答 資力に乏しい方は10年まで延長できるように考えている。

鎌田篤司（市政クラブ）

コロナ禍での生命の海 科学館の活動と役割

問 JAXAの小惑星探査機「はやぶさ2」の関連企画をこれまででも行ってきたが、今後の計画は。

答 例年、6月13日の「はやぶさの日」を記念し、その付近の週末に講演会を開催している。9回目の来年度も「はやぶさ2」の関係者を講師に迎え、講演会開催などを考えている。

コロナ禍での市民病院の 体制と対応

問 新たに就任された院長の抱負を伺う。

答 市内唯一の二次医療機関として新型コロナウイルス感染症検査と診療の一層の充実と救急医療体制



も引き続き守り、市民にいつでも安心して医療を提供できるよう努める。春には名古屋市立大学で使用する電子カルテシステムを導入、運用を開始し、大学と更なる強固な関係を築いていく。

鈴木将浩（自民党市議団）

カーボンニュートラル について

問 地球温暖化対策実行計画の今後の施策の実施予定や削減目標値等、より明確にすべきではないか。

答 削減目標等の数値化は非常に難しいが、各計画期間を段階的に捉えて取り組み、着実に温室効果ガス排出量を削減したい。

問 ゼロカーボンシティ宣言の表明が全国的に大きな広がりを見せる中、市も表明を検討してどうか。

答 県や各自治体の状況や表明自治体の取組を研究し、ゼロカーボンシティについて検討を進めたい。

問 温室効果ガスの削減のためには、民間との連携が必要不可欠である。一般家庭や事業者への支援策を充実する必要があると考えるが検討してどうか。

答 民間事業者には、国の補助事業が活用できるか検討していただき、市としても市単独での支援の必要性について研究したい。

牧野泰広（自由クラブ）

市内の都市公園 について

問 公園利用者の安全安心を確保するため防犯カメラの設置が有効と考えるが、市の考えを伺う。

答 公園の規模や利用度及び必要性に応じて、防犯カメラの設置を検討する必要があると思っている。



コロナ禍における 公共施設のICT化

問 コロナ禍において利用しやすい施設となるために、ICTを活用して事前に窓口の混雑状況が確認できる仕組みや、予約できる仕組みが必要ではないか。

答 今年度の確定申告では、オンライン及び電話での事前予約制の導入を検討している。混雑状況の事前確認の仕組みについては、市民課をはじめ市役所1階の受付窓口で一時的に待ち時間が多くなることもあるため、適切な方法を研究していきたい。



竹内滋泰（自民党市議団）

蒲郡市地域強靱化計画の 策定について

問 いかなる災害が発生しようとも、人命の保護が最大限図られることが本計画の最大の目標である。

答 本市の防災を考える上で、緊急輸送路の確保、市民病院の受入体制の充実、防災の拠点づくりの3点が重要項目と考える。緊急輸送路の確保について伺う。

問 計画では、個別の輸送路の状況の把握・評価はしていないが、改めて確認していきたい。